

歯磨きをしているよ

「はみがきをしているね。」

「みんなはご飯のあと、ちゃんとはみがきをしているかな？」

「きちんとはみがきをすると虫歯にならないよ。」

「どっちがよい子？おひさまマークの子かな？お月さまマークの子かな？」

「おひさまマークの子と、お月さまマークの子、どこが違うかくらべてみよう。」

★違い

おひさまマークⅡまっすぐに立って鏡を見ながら歯を磨いている

保護者が歯磨きの様子を見ている

お月さまマークⅡソファの上で飛び跳ねたり、横になったりしている

保護者は外で洗濯物を干しており、子どもたちの様子を見ていない

★事故予防のポイント

①歯ブラシは使い方によっては危険

子どもが口に入れるものは、子どもの月齢・年齢に応じたものを与える必要があります。

「歯ブラシ」のように細長い形をしているものは、ささいなきっかけで口の中や喉を突き、重大な傷害を引き起こすことがあります。

②予防するために

・子どもに歯磨きをさせるときはまっすぐに立たせるか、背筋を伸ばした姿勢で椅子に座らせます。テレビを見せながら、あるいは歩いたりふざけたりしながら歯磨きをさせたいけません。

・歯ブラシだけでなく、棒つきのあめ、アイスキャンディー、千歳あめ、焼きとり、串だんご等も同じです。このような形のものを食べさせるときはきちんと座って食べさせてください。保護者の方が手をつないでいたとしても、歩きながら食べさせてはいけません。また、車の中で食べさせることも厳禁です。急ブレーキをかけた拍子に棒の部分が喉を突くことがあるからです。

・細長い形のものや長い柄のあるもの、お箸や定規、鉛筆、ボールペン等も同様の注意が必要です。